

## JA ほこた苺部会研究部が現地意見交換会を開催

令和8年5月25日（月）に、生産者の育苗ハウスにおいてJAほこた苺部会研究部を対象に、次作の良質な苗作りを目的とした意見交換会が開催され、生産者15名が参加しました。

研究部員2名の育苗ハウスを見学しながら、育苗中に気を付けている点や工夫している点等について参加者間で情報交換を行い、普及センターからは高温対策技術や補助事業の紹介を行いました。

R7-8年作は育苗期が記録的な高温となり、花芽分化の遅れや病害虫の発生が課題となったことから、研究部として遮熱ネットの利用や底面給水の導入など、新たな技術に関する試験に取り組んできました。気候変動が進む中で更なる収益向上を図っていくために、基本的な管理の徹底に加えて高温対策等様々な対策を講じていくことの重要性を確認する良い機会となりました。

普及センターでは引き続き、イチゴの生産性向上につながる技術の普及を図り、イチゴ生産者の所得向上を支援していきます。

### 銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



（写真）意見交換会の様子